

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【公開番号】特開 2000-320634 (P2000-320634A)
 【公開日】平成 12 年 11 月 24 日 (2000.11.24)
 【出願番号】特願 平 11-129097
 【国際特許分類第 7 版】
 F 1 6 H 15/38
 【F I】
 F 1 6 H 15/38

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 2 月 25 日 (2005.2.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 4】

又、上記バルブボディー 70 の外側面に固定した取付基板 77、77 に、それぞれが第二の枢軸 78、78 を有する枢支ブラケット 79、79 を設けている。これら第二の枢軸 78、78 は、第一、第二の入力側ディスク 17、18 及び第一、第二の出力側ディスク 20、21 (図 12 参照) の回転中心に対し平行で、第一、第二キャビティ 34、35 (図 12 参照) の側方に対向する位置に設けている。そして、上記各第二の枢軸 78、78 は、図 4 に示す様な全体を略四角棒状に形成した揺動腕 80 の長さ方向 (図 4 の上下方向) 両端部の幅方向 (図 4 の左右方向) 中央部を、揺動自在に枢支している。従って、上記揺動腕 80 の幅方向両端部は、前記各駆動ロッド 51、51 の軸方向に関して互いに逆方向に同じ距離だけ変位する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 4 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 4 3】

更に、図示の例の様に、歯車伝達機構 82 を設けている為、前述の駆動シリンダ 53、53 への油圧供給回路が故障した場合でも、第一、第二各パワーローラ 45、46 の傾斜角度を互いに一致させる事ができる。この為、故障時にも、これら第一、第二各パワーローラ 45、46 の周面 9a、9a と各ディスク 17、18、20、21 の内側面 2a、4a との当接部で著しい滑りが発生するのを防止して、トロイダル型無段変速機が損傷するのを防止できる。尚、本発明を実施する場合に、各トラニオン同士の傾斜角度を一致させる為の機構は、上記歯車伝達機構 82 に限らず、前述の図 15 ~ 16 に示した様な、ケーブルによるものであっても良い。